注意報　注意報　注意報　注意報　注意報　注意報　注意報　注意報

農推第２４３３号
令和８年９月９日

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

病害虫発生予察情報について

標記について下記のとおり発表したので送付します。

－－－

病害虫発生予察注意報第７号

１　病害虫名　　ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）

２　対象作物　　野菜類・花き類（なす、きゅうり、さといも、きく等）

３　発生地域　　府内全域

４　発生量　　多い

５　注意報発令の根拠

（１）　今年度８月 18～20 日における露地なすとさといもの巡回調査の結果、ハダニ類の発生が平年値を大きく上回った（表１）。

（２）　大阪管区気象台の近畿地方１か月予報（９月３日発表）では、向こう１か月の気温は平年より高い確率が 70%となっており、今後も多発傾向が続く可能性が高い。

表1　8月 18～20 日の露地なすのハダニ類の発生状況(河南町、貝塚市)

	本年	平年	平年値との比較
寄生株率(%)	33.0	4.1	8.0 倍
発生密度(頭/葉)	0.69	0.13	5.3 倍

表2　8月 18～20 日のさといものハダニ類の発生状況(富田林市)

	本年	平年	平年値との比較
寄生株率(%)	100	15.0	6.7 倍
発生密度(頭/葉)	81.0	3.68	22.0 倍

６　生態と被害

（１）　主にカンザワハダニとナミハダニが発生する。

（２）　成虫の体長は約 0.5㎜ と小さい。

（３）　体色はカンザワハダニは赤色、ナミハダニは薄い黄緑色のことが多いが、赤色の場合もある。

（４）　葉を吸汁し、初期には葉が白っぽいかすり状になる。発生が増加すると葉が落葉する。新芽に多数寄生すると株の生育が止まる。

（５）　露地栽培では梅雨明け後の７月以降、施設栽培では気温が上昇する３月以降に発生が多くなる。



写真１　なすのハダニ類の被害

7　防除対策

（1）薬剤防除

・薬剤は葉表と葉裏の両方に、十分にかかるように散布する。

・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避ける（系統については別添防除薬剤例、病害虫防除指針などを参照）。

（2）その他防除

・ハダニ類の増殖を抑えるため、摘除した茎葉などの残さは放置せず、ほ場外に持ち出し処分する。また、圃場内やその周辺の除草を行う。

・ハダニ類に対しては、気門封鎖剤（サフオイル乳剤、ムシラップ、エコピタ液剤等）が登録されている。これらの剤は残効はほとんどないものの、化学合成農薬の効果が低下したハダニ類に対しても効果が期待でき、薬剤抵抗性が発達する可能性が低いという利点がある。

＜別添＞　ハダニ類の防除薬剤例

作物	薬剤名	系統（IRAC）	希釈倍数	使用時期	使用回数
なす	ダニオーテフロアブル	アシノナピル（33）	2000倍	収穫前日まで	2回以内
	スターマイトフロアブル	β－ケトニトリル誘導体（25A）	2000倍	収穫前日まで	1回以内
	マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート（20D）	1000倍	収穫前日まで	1回以内
きゅうり	マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート（20D）	1000倍	収穫前日まで	1回以内
	カネマイトフロアブル	アセキノシル（20B）	1000～1500倍	収穫前日まで	1回以内
	コロマイト水和剤	アベルメクチン・ミルベマイシン（6）	2000倍	収穫前日まで	2回以内
さといも	コロマイト乳剤	アベルメクチン・ミルベマイシン（6）	1000倍	収穫前日まで	2回以内
	マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート（20D）	1000倍	収穫3日前まで	1回以内
	コテツフロアブル【劇】（カンザワハダニ）	ピロール（13）	2000倍	収穫7日前まで	2回以内
野菜類	サフオイル乳剤	（－）	300～500倍	収穫前日まで	－
	ムシラップ	（－）	500倍	収穫前日まで	－
	エコピタ液剤	（－）	100倍	収穫前日まで	－

・登録は令和８年９月８日現在

・最新情報は農林水産省「農薬登録情報提供システム」で確認してください。
（https://pesticide.maff.go.jp/）

・これら以外の剤については、Web 版大阪府病害虫防除指針も参照してください。
（https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/boujo_shishin.html）